

大腸内視鏡検査 説明書及び同意書

【大腸内視鏡検査についての説明】

- 大腸内視鏡検査は直腸・S状結腸・下行結腸・横行結腸・上行結腸などの、大腸の病気（炎症・腫瘍・ポリープ・癌等）を診断して、適切な治療方針を立てることが目的です。
- 検査前日の睡眠前から腸内をきれいにするために下剤を飲みます。
さらに、検査当日の朝8：00頃より下剤（ニフレック）を飲みます。
- 便の状態が透明になったら検査可能となります。
- 検査がスムーズに行える為に、鎮静剤を使用することがあります。
- 肛門からカメラを挿入して直腸・S状結腸・下行結腸・横行結腸・上行結腸などを観察します。
必要な場合には、病変部より組織を採取して病理組織的検査により、病変部が良性か悪性かなどを診断します。
- 検査時間は20～30分程度です。
- 腹部の手術で大腸の癒着がある方などは、さらに時間がかかることがあります。
- 検査によって起こり得る症状として稀に
 - 1・出血
 - 2・穿孔（突き抜けて孔があく）
等が上げられています。万が一これらの症状が生じた場合には、最善と思われる処置を行います。
- 下剤を服用により悪心・嘔吐・急激な下剤による血圧低下・腸管が狭い方での腸閉塞や腸管穿孔などが、ごく稀に起こります。その様な場合はクリニックにご連絡ください。
- コンタクトレンズを使用している方は眼鏡で来院して頂きます。
義歯をしている方、眼鏡の方は検査の時に外せるようにして頂きます。
- 朝食は食べないで来院してください。

内視鏡検査同意書

内視鏡検査の必要性・検査時に起こり得る症状等を理解しましたので、検査・治療・処置を受ける事に同意します。

(検査日) _____ 年 _____ 月 _____ 日

患者氏名 _____ 印

※ご本人が署名できない場合は、ご家族または代理人の方で大丈夫です。